

フランソワルトンの赤ちゃん 愛称が「レモン」に決定しました!



▲生後 20 日目のレモンと母親のミカン

平成 29 年 11 月 27 日 (月) によこはま動物園ズーラシアで誕生したフランソワルトンの赤ちゃん (オス) の愛称が決定しました。12 月 23 日 (土・祝) ~28 日 (木) に行った愛称投票で、総数 596 票の内、最多の 322 票を獲得した「レモン」に決定しました。

赤ちゃんは開園日の 11 時~14 時まで展示しています。オレンジ色の愛らしい赤ちゃんに会いに、ぜひお越しください。

順位	愛称候補	由来	票数
1	レモン	母親ミカン、姉ユズの名前にちなんで。	322
2	シン	生息地・中国の言葉で「星」という意味。 元気に育ち、人気者になることを願って。	148
3	マイ	生息地・ベトナムの言葉で「幸運」という意味。 この先良いことが沢山あることを願って。	122
		無効票	4
		合計	596

※動物の健康管理上の理由等により、展示時間の変更や中止となる場合があります。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先			
よこはま動物園	副園長	渡辺 武志	Tel 045-959-1298

■フランソワルトンについて

英名	Francois' Langur
学名	<i>Trachypithecus francoisi</i>
分類	霊長目 オナガザル科
生息地	中国南部の一部からベトナム北部にかけて分布
生態	河川に面した石灰山地や険しい岩山のある熱帯モンスーン林に生息し、1頭のオスに対し、複数のメスからなる群れを形成する。生息数が少なく、絶滅が心配されている。 フランソワルトンの赤ちゃんは全身黒い毛の成獣とは異なり、全身オレンジ色の毛でおおわれている。赤ちゃんの色は群れの成獣の「子守行動」を誘発させると考えられている。毛色は徐々に変化し、生後6か月～1年程で成獣と同じ全身黒色になる。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ：現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧ⅠB類 (EN)： 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	10頭 (オス5頭、メス5頭) ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	6園館 27頭 (オス12頭、メス15頭) 平成28年12月31日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート (18歳以上) 2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝日の場合は開園し、翌日休園) ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000